

◆ 編集後記 ◆

「東洋大学福祉社会開発研究センター」は、平成 年度の文部科学省学術研究高度化事業補助事業（オープン・リサーチ・センター）の指定を受けて設立されましたが、ここにセンターの第1年目の研究活動成果として『福祉社会開発研究』創刊号をお届けできることは、望外の喜びです。

センター長の巻頭言にもありますように、本研究センターは、プロジェクト1「自治体福祉・保健計画と地域における福祉社会の形成」（白山）とプロジェクト2「中山間地の振興に関する調査研究」（朝霞）とに分かれてさまざまな研究や事業を行ってきましたが、この間、全体でのシンポジウムを開催すると共に、それぞれのプロジェクトでもシンポジウム、ワークショップ、研究会、交流会などを頻繁に開催し、研究課題や方法の明確化、現場への貢献のありかたなどについて検討をすすめてまいりました。

これらの成果は、本書に収録された諸論文や資料にその一端が示されていますが、来年度からの課題としては、これまでに蓄積されたさまざまな知識や情報をつき合わせ、より総合的な研究や実践のありかたを模索し、着実な成果をあげてゆくことであると思います。

幸いこの1年間で、研究体制とそれを支える事務体制もかなりでき上がって来ましたので、来年度以降、内外の期待に沿えるような成果があげられるのではないかと考えております。

今後とも、関係者各位のより一層のご指導・ご鞭撻をお願いし、編集後記とさせていただきます。

平成 年 月

「福祉社会開発研究」編集委員

小林 良二（プロジェクト1リーダー）

内田 雄造（プロジェクト2リーダー）